

授業改善推進プラン（教科 音楽）

作成者 堀内 美佐子

全学年共通課題		指導の手だて	
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を愛好する心情をより深く育てる。そして音楽をより楽しむ。 ・基礎基本の充実を図る ・聴くことを大切にしながら、個人の技量を伸ばし表現力を高める。 ・伝統的な音楽への関心を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽をより身近に感じ愛好する気持ちを高めるため、教師自ら主体的に音楽表現法をアピールしていき、生徒に共感を促す。 ・楽典等の基礎知識を理解し活用できるようにする。 ・演奏の中でお互いに聴き合うことで、よりよい表現になるよう指導する。 ・個々の音楽活動への基礎的な能力を育成していく。少人数ならではの良さがアピールできる演奏や曲創りを工夫する。 ・日本の伝統音楽や八丈島の伝統芸能に親しむ。 	
学年毎の課題	学年	実態	指導の手だて
	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に音楽活動に取り組んでいる。明るくほがらかな歌声が広がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にポイントをおさえた授業を展開して、自らの課題にむかって取り組む姿勢を育てる。聴き合う活動を多く取り入れる。 ・歌唱において腹式呼吸など発声法の基本指導する。 ・音楽の感受性を高めていく。
	2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・素直に取り組む姿勢がある。アルトリコーダーの練習をグループで教え合いしっかり取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現力を高めるため、ひとりひとりの声を良さを認め合い自信を持って表現していくことを高める。 ・聴き合うことでお互いの音楽力を培う。 ・発声法の指導を深める。 ・音楽の曲趣のとらえ方を深める。
	3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱のパート練習で男子が活発に和気あいあいと取り組んでいる。女子は発声法を身につけた歌声に変わり、すてきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として更に表現力のレベルアップができるように、発声法等も含め音楽的感受を高める指導を多く取り入れる。お互いの演奏を聴き合う。 ・各自のパートをよりの確に表現できるよう指導する。 ・聴くための集中力を更につけていく。聴くポイントが理解できたかを確認する。

音楽科 2 学年 1 学期 指導計画・評価計画

単元	指導計画 項目・内容・(時数)	評価規準			
		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 月	歌唱 ○混声2部合唱 「夢の世界を」 「翼をください」 「夏の日の贈り物」 「荒城の月」(心の歌) (6)	○曲の背景にある情景や心情に関心を持ち、自己の感情を意欲的に表現しようとする。 ○曲種に応じた発声法に興味をもち、意欲的に活動している。 ○他の声部の役割や表現に関心がある。	○曲の背景にある情景や心情を感じ取り、自己の感情を生かす表現を工夫をしている。 ○曲想の変化を感じ取り、曲種に応じた発声や表現を工夫している。 ○他の声部の役割や表現を感じ取って、理解している。	○曲の情景や心情を理解し、自己の感情を生かして表現する。 ○曲種に応じた発声で歌唱表現する。 他の声部の役割や表現を理解し、表現する。 ○	○各声部のハーモニーを聴き取ろうとしている。
	創作 ○楽典 (3) ・簡単な作曲をしよう (八丈方言を使っている曲)	○言葉の抑揚、アクセント、リズムによる特性に関心がある。 ○声部の構造、曲の仕組みに関心がある。 ○歌詞の形式的なまとまりや言葉の持つ特性に関心がある。 ○強弱記号や標語を意欲的に学ぼうとしている。 ○音階や楽曲の形式・構成に関心がある。	○言葉の抑揚、アクセント、リズムによる特性など表現の仕方を工夫している。 ○声部の構造、曲の仕組みを感じ取っている。 ○歌詞の形式的なまとまりや言葉の持つ特性を感じ取っている。 ○強弱記号や標語を楽曲の中から感じ取っている。 ○音階や楽曲の形式・構成によるまとまりを感じ取っている。	○言葉の抑揚、アクセント、リズムによる特性などを理解し、表現する。 ○曲の仕組みを理解し、表現する。 ○歌詞の形式的なまとまりや言葉の持つ特性を生かして創作表現する。 ○強弱記号や標語を生かした表現する。 ○音階や楽曲の構成によるまとまりを表現する。 ○曲種にふさわしい音色や奏法で表現する。	○互いの音色を聴き合っている。
	器楽 ○リコーダーアンサンブル 「ラヴァースコンチェルト」 (3)	○曲種にふさわしい音色や奏法に関心がある。 ○パートの構造、曲の仕組みに関心がある。 ○他の声部の役割や表現意図に関心がある。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心がある。	○曲種にふさわしい音色や奏法を感じ取り、表現を工夫している。 ○各パートの構造、曲の仕組みを感じ取っている。 ○他の声部の役割や表現意図を感じ取って、理解している。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って表現を工夫している。	○各パートの構造、曲の仕組みを理解し、表現する。 ○他の声部の役割や表現意図を理解して、表現する。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って合奏表現する。	○各パートの音色を感じ聴き取っている。
	鑑賞 ・鍵盤楽器の曲 フーガニ短調 (1) ・ベートーヴェン 「交響曲第5番」 ハ短調 (2)	○音楽の様々な構成要素の働きをより細部にわたり関心がある。 ○琴の音色に関心がある。 ○曲の構成やオーケストラの音色に関心を持ち、意欲的に鑑賞している。 ○音楽が他の芸術とどのように結びついているのかに関心がある。	○音楽の様々な構成要素の働きをより細部にわたり知覚し、曲想を感じ取っている。 ○琴の音色を感受している。 ○曲の構成や各楽章の特徴をとらえ、オーケストラの響きや音色の味わい、曲の成り立ちを理解して聴いている。 ○音楽が他の芸術とどのように結びついているのかを感じ取っている。		○音楽の様々な構成要素の働きをより細部にわたり理解し、楽曲全体を味わっている。 ○琴の音色の良さを聴き取っている。 ○同一楽曲でも表現の工夫により、音楽の表情が大きく変わることを聴き取る。 ○音楽が他の芸術とどのように結びついているかを理解し、楽曲全体を聴き取っている。
評価 主 項 目	定期考査 (1)		40	40	30
	提出物・態度	40			
	歌唱・創作	20	30	20	10
	器楽	20	20	30	10
	鑑賞	20	10	10	50
観点別評価基準		各観点の達成率で決める。 100～80%：A 79～50%：B 49～0%：C			
評定基準		各観点毎の達成率を平均し、それを基準に当てはめる。 100～90%：5 89～80%：4 79～50%：3 49～20%：2 19～0%：1			

音楽科 2 学年 2 学期 指導計画・評価計画

単元	指導計画	評価規準			
		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
9・10月	歌唱 ○斉唱 「浜辺の歌」(心の歌) 「サンタルチア」 ○混声3部合唱 「心の中にきらめいて」 (3)	○曲の背景にある情景や心情に関心を持ち、自己の感情を生かし意欲的に表現しようとする。 ○自己のイメージや感情の根拠を歌詞や曲の仕組みの中に見つけることに意欲的である。 ○言葉の抑揚、アクセント、リズムによる特性に関心がある。 ○発声の仕方や表現意図に関心がある。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心がある。	○曲の背景にある情景や心情を感じ取り、自己の感情を生かし、表現を工夫している。 ○自己のイメージや感情の根拠を歌詞や曲の仕組みの中に見つけている。 ○言葉の抑揚、アクセント、リズムによる特性など表現の仕方を工夫している。 ○発声の仕方や表現意図を感じ取って、理解している。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って表現を工夫している。	○曲の情景や心情を理解し、自己の感情を生かして表現する。 ○自己のイメージや感情を生かして、表現する。 ○言葉の抑揚、アクセント、リズムによる特性などを理解し、表現する。 ○発声の仕方や表現意図を理解して、表現する。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って合唱表現する。	○各声部のハーモニーを聴き取ろうとしている。
11・12月	器楽 ○器楽合奏 ポピュラーソングアンサンブルをしよう(2) ○楽典 ・拍子とリズム ・速度標語と記号 ・長調と短調 (3)	○曲にふさわしい音色や奏法に関心がある。 ○様々な種類の楽器とその使い方に関心がある。 ○パートの構造、曲の仕組みに関心がある。 ○他の声部の役割や表現意図に関心がある。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心がある。 ○歌詞の形式的なまとまりや言葉の持つ特性に関心がある。 ○音階や作品の形式・構成に関心がある。 ○作品を五線譜などに記録することに意欲的である。 ○音の素材・声や音の特性に関心がある。 ○表現したいイメージや曲想を持つことに意欲的である。	○ふさわしい音色や奏法を感じ取り、表現を工夫している。 ○様々な種類の楽器と使い方による音楽表現を感じ取れる。 ○各パートの構造、曲の仕組みを感じ取っている。 ○他の声部の役割や表現意図を感じ取って、理解している。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って表現を工夫している。 ○歌詞の形式的なまとまりや言葉の持つ特性を感じ取っている。 ○音階や作品の形式・構成によるまとまりを感じ取っている。 ○作品を五線譜などに記録する方法を工夫している。 ○音の素材・音の特性を感じ取っている。 ○表現したいイメージや曲想を持ち、変化・発展させている。	○曲にふさわしい音色や奏法を生かして表現する。 ○様々な種類の楽器を用いて、表現する。 ○各パートの構造、曲の仕組みを理解し、表現する。 ○他の声部の役割や表現意図を理解して、表現する。 ○演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って合奏表現する。 ○歌詞の形式的なまとまりや言葉の持つ特性を生かして創作表現する。 ○音階や作品の形式・構成によるまとまりを表現する。 ○作品を五線譜などに記録する。 ○音の素材や特性を生かし、創作表現する。 ○表現したいイメージや発想を持ち創作表現する。	○互いの音色を聴き合っている。 ○各パートの音色を感じ聴き取っている。
	鑑賞 ○鑑賞 ・オペラの名曲 「アイダ」(3) 「魔笛」他	○オペラに関心・意欲を持って聴いている。 ○表現要素とフーガの構造を関連させ、細部にわたり聴き取ることに意欲的である。 ○音楽の特徴や特質を地域の文化、歴史と結びつけることに関心がある。 ○音楽が他の芸術とどのように結びついているのかに関心がある。	○独唱・重唱・合唱それぞれの特徴やオーケストラとの調和を感受している。 ○表現要素とフーガの構造の関連を細部にわたり感じ取っている。 ○音楽の特徴や特質を地域の文化、歴史と結びつけて感じ取っている。 ○音楽が他の芸術とどのように結びついているのかを感じ取っている。		○場面の雰囲気音楽との関係を感じ取りながら聴いている。 ○表現要素とフーガの構造を理解し、楽曲全体を聴き取っている。 ○音楽の特徴や特質を地域の文化、歴史と結びつけて理解し、楽曲を聴き取っている。 ○音楽が他の芸術とどのように結びついているのかを理解し楽曲全体を聴き取っている。
評価項目	定期考査 (1)		40	40	30
	提出物・態度	40			
	歌唱・創作	20	30	20	10
	器楽・創作	20	20	30	10
	鑑賞	20	10	10	50
観点別評価基準		各観点の達成率で決める。			
評定基準		100～80% : A 79～50% : B 49～0% : C 各観点毎の達成率を平均し、それを基準に当てはめる。			
		100～90% : 5 89～80% : 4 79～50% : 3 49～20% : 2 19～0% : 1			

